

## 蕾 つぼみ

春まだ浅き、のどかな  
昼下がりに。突然、未だか  
つて経験したことのない  
地震、その直後の巨大津  
波と対面した人々。その  
気持ちは、簡単に理解で  
きるものではあるまい。

地震の第一報は千葉に  
住む妹の、今揺れている、  
だった。暫くしてテレビ  
を点けると、現場を中継  
していた。筆を止めて、  
何っ…と声は出るが、適  
切な言葉が見当たらない。  
七年前、新潟で、十六年  
前、阪神淡路で大きな地

震があつたばかりである。  
地球はモノではなく生命  
ある存在で進化の段階に  
あるのだと実感する。

先月、小さな雑居ビル  
に入っている馴染みの店  
が閉められた。倒産とも  
なると、酒屋から八百屋、  
銀行など取引先などに対  
して債務がやってくる。

その主人に今、何が必要  
だろうか。きつといいこ  
とがありますよとさりり  
と言えるのか。以前読ん  
だ本に「体力が落ちてい  
るときに必要なのは、点  
滴です」という答えがあ  
つたが、確かにそうだ。  
被災地に一刻も早く、食

料と飲料水などの物資を  
届けなくてはならない。

一週間が過ぎて、テレ  
ビでは地震被災を忘れた  
かのように原発一辺倒に  
なった。孤立している人  
達のこととはもういいのか  
という印象を持つ。悪い

ことばかりではない。今  
回のことは日本中の子供  
たちの心を深く動かして  
いるようだ。やがて蕾が  
若葉に、そして花を咲か  
せるまで少し時間がかか  
るだろうが、確実に心の  
時代に向けて歩き出した。  
そんな気がしてならない。  
東日本は必ず復興される。  
日本人の底力である。